

茜町春彦

WEB 絵本

露店商人

金子文子

第8卷

WEB絵本

『露店商人（金子文子）』第8巻

絵・訳：茜町春彦

原作：金子文子

Title: A Street Vendor (Kaneko Fumiko) volume 8

Illustrated and translated by: Akanemachi Haruhiko

Original author: Kaneko Fumiko



けれど、品物を取り出すひまもなく、きっぱりとツッケンドンに私は断られた。

「せっかくですが、いま手がふさがっていますから」

手が塞がっている？ 物もらいと私は間違えられたのだ！

But I had no time to take the goods out. She rejected me.

"Sorry! I'm busy now."

I'M BUSY NOW? She confused me with a beggar!



脳天から打ちのめされたような気がして、私はもうフラフラとした。

そして解きかけた風呂敷包をも一度結んで、悄然と泥棒犬のようにその家を出た。

「まあ、何てうるさいんでしょう、この頃は毎日のように孤児院が来るのねえ。私、初めのうちは可哀相だと思って5銭6銭出してやったが、でもキリがないので、この頃はもう片っ端から断ってやることに決めているのよ」

「ええ奥さん、それが一番ですよ。可哀相だ可哀相だといった日にゃ、こちらの口が乾あがってしまいますからね」

「ほんとに、全くだわ」

そう言って二人が高笑いしているのを、私はその家の外に出たときに聞いた。

I was defeated completely. I felt dizzy.

I was trying to undo my carrying cloth. But I again knotted the cloth. And I disappointedly sneaked

out as a stealing dog.

"Really annoying! Orphans come almost every day lately. You know? At first, I gave them 5 or 6 cents out of pity. But there is no end. So, I am determined to refuse all of them lately. You know?"

"You are right. Absolutely. If we feel pity for them every day, we will go hungry."

"Exactly!"

The two women said so and was laughing loudly. I could hear their talk when I got out of the house.



せっかくの勇気をへし折られて、私の足は一層重くなった。

またもや私は、ただ、ぶらぶらと歩いた。が、もう日暮れどきであった。私はどうかして食べ物にありつかねばならなかった。

I lost heart and walked with heavy steps.

Again, I wandered around the streets. It began to get dark, though. I had to get to eat somehow.



と、ある横丁の路地の奥で、櫛巻きの女が洗濯しているが見えた。

その脇にその女の子供らしい7，8つの男の子がいた。

Then, I saw a woman washing at the back alley of a side street. Her hair was the winding style with a comb.

A boy was standing next to her. He looked to be her son. Maybe, he was seven or eight years old.



「ほんとうにお前みたいな悪戯っ子はないよ、さっき着せてやった新しい着物がもうこれだ。見ろ、こんなに車の油なんかつけて、ちっとも落ちやしないから・・・」

女はこうその男の子を叱りながら、白地の浴衣を洗濯板でゴシゴシと擦っているのだった。

"I have never seen a rascal like you. Really! I put new clothes on you a while ago. What is this! Look, it's stained with car oil! This stain won't come off easily ... "

The woman scolded the boy like that. And she was vigorously washing his white clothes with the washingboard.



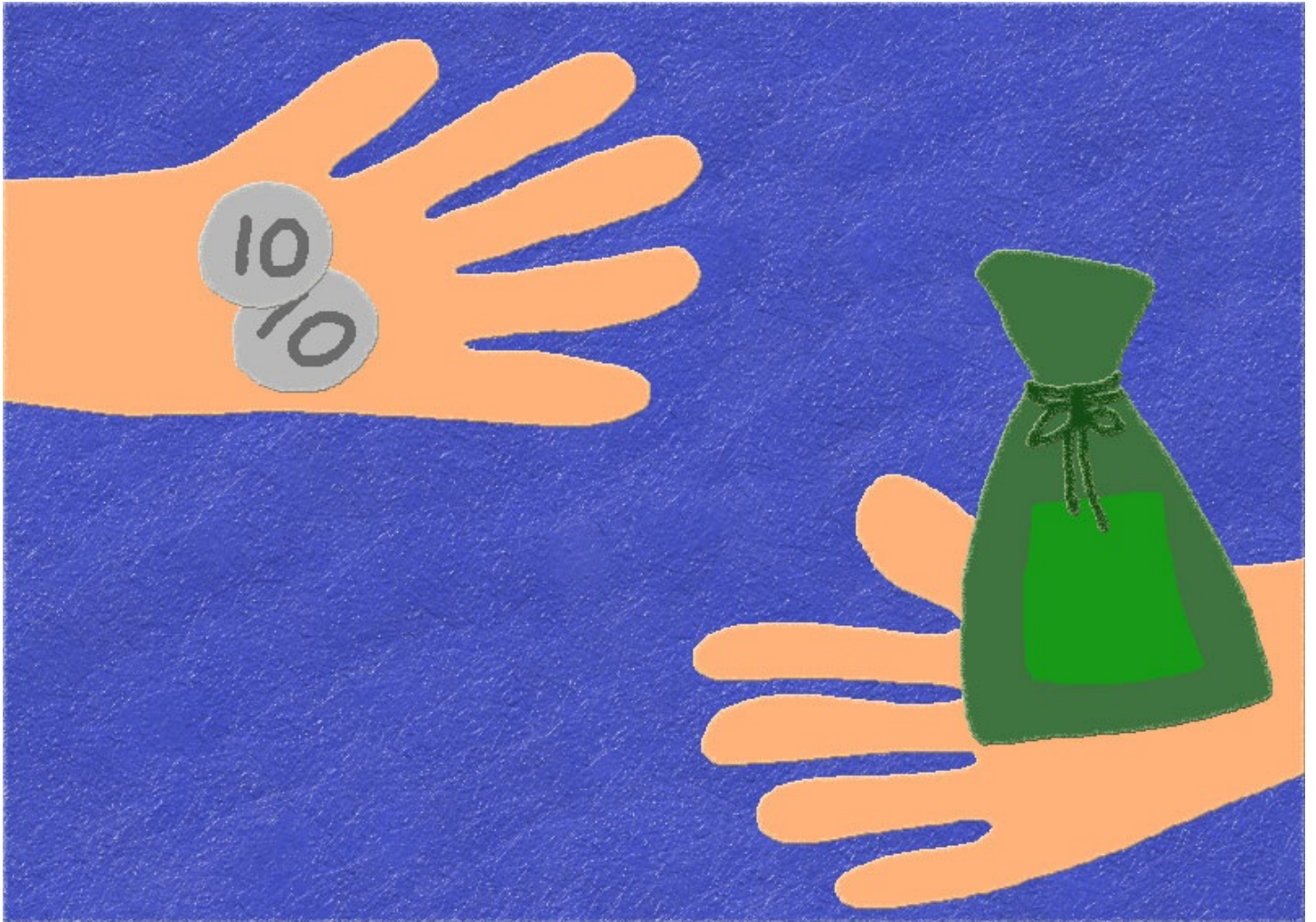
私はツカツカとその側に近寄って行った。

夜店で毎晩、わざわざ白布に機械油をしませて綺麗に洗い落として見せていたほどである。自信をもって私は、私の粉しゃぼんをそのおかみさんにすすめることができた。

I walked briskly up to them.

I gave a demonstration at the night stall every evening. I soaked a white cloth with machine oil intentionally and washed the stain out thoroughly.

I could recommend my powder soap with confidence to the woman.



「きっと落ちます、なんなら私がひとつ試してみましようか」とさえ私は言った。

「じゃ、ひと袋おいて行ってください」と、おかみさんは、懐中から財布を出して20銭だけ奮発してくれた。

「ありがとうございます」と私は、金を受け取るなり、走るようにその路地から大通りに出た。

"It is sure to remove the stain. I will try if you like," I said.

"Well, I'll take one," the woman said and took her wallet out of her pocket. And she gave me 20 cents.

"Thank you," I said and received the money. I went to the main street from the side street in a hurry.
(つづく)

後書き

参考文献：

- 何が私をこうさせたかー獄中手記（金子文子著 岩波文庫 2017年12月15日第1刷発行）

CG画像：

次の画像処理ソフトウェアを使用しました。

- ArtRage 5 アンビエント社
- Photoshop Elements 2020 アドビシステムズ株式会社

著者：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行っております。また、下記WEBサイトに於いても、デジタル作品を公開しております。

- ピクシブ
- カクヨム
- エブリスタ
- はてなブログ
- 楽天Kobo電子書籍ストア
- Facebook ページ
- YouTube
- BOOTH

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です。

本書は著作権法により保護されています。

2020年1月11日発行

WEB絵本『露店商人（金子文子）』第8巻

<http://p.booklog.jp/book/129656>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/129656>

電子書籍プラットフォーム：パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：デザインエッグ株式会社